



## 『QCサークル』誌 2026年4月号 見どころ、読みどころ

### ★トップからのメッセージ

表2～

トヨタ紡織九州(株) 取締役社長 (取材当時) 伊丹 正さん

(QCサークル活動は) 製造だけでなく、事務や技術といった事技部門でもかなり早い時期から展開しており、文字どおりの全社活動になっています。それと活動メンバーには期間社員や派遣社員の方々にも入っていただける体制を整えており、この全員参加の活動というのも、当社のQCサークル活動の大きな特長だと思います。

また年度末の3月に行う社内発表会で最上位の評価を受けたサークルはトヨタ紡織の国内関係会社の選抜会に出場します。これまでは国内関係会社の選抜会を突破して本大会にも7年連続で出場し、しかも7年連続で金賞を受賞しました。これは誇らしいことです。

### ★ザ・ショット 写真で綴るQCサークル紀行

p.3～

玉川大学 体育会 バasketボール部

日本のBasketボール人気が急速に高まり、プロBasketボール「Bリーグ」の観客総動員数は過去最高を毎年のように更新しており注目されます。大学スポーツ界・玉川大学(東京町田市)の体育会・Basketボール部では2025年度からQCサークル活動が行われています。大学生たちがどんな活動を行っているのかは非常に興味深く、QCサークル活動の新たな拡がりの可能性が感じられます。本誌編集委員でもある同部部长・木内正光さんから、QCサークル活動導入の背景や導入と推進で工夫した点をお聞きし、また活動を行ったマネージャーたちサークルメンバーからは、取組みの苦労などをうかがいました。

### ★特集: Just Do It! 改善っておもしろい

p.9～

QCサークル活動ではQCストーリーを活用して問題解決や課題達成のステップを踏んで改善に取り組むことが奨励されています。一方、職場の中には、「すぐに改善できること」、「固有技術的の見通しを頼りにまずやってみようという改善」も多いかもしれません。すぐに改善できることは改善提案制度で推進する組織が多いですが、今ひとつ活性化できておらず、重要性に気づいていないところも少なくありません。

本特集では、Just Do It型の改善を通じて改善のおもしろさを実感した人の声や、Just Do It型の改善を活性化するための様々な視点や職場の工夫を紹介します。

### ★活動支援のページ: リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QCサークル活動をより楽しく進めるために～

p.23～

#### 第4回 若いものに、その気になってもらいたい。さあ、どうする?

今年1月号から、昨年までの「推進者のページ」と「運営のページ」を統合し、推進者およびサークルを対象としてみなさんのQCサークル活動に寄り添う記事をお届けしています。6月号まではQCサークル活動の困りごとについて、企業事例を加えながら解決策を探ります。

第4回は「若いものに、その気になってもらいたい。さあ、どうする?」と題し、正しく理解してもらおう工夫、活動へ参加してもらおう工夫を考察し、2社のサークルリーダーの声を聞き若手を「その気」にさせている事例を紹介します。事例を交えながら、読者のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

### ★ルポ1: QCサークル岡山地区 小規模でも活性化できる!

P.40～

2025年度に行われた幹事会社間交流会、QCサークルステップアップ発表会のルポを掲載し、他の幹事会社の取組みや、活動歴の浅いサークル・企業の発表を行い、地元の高校生の新鮮な声を聞いてサークル活動へも刺激をもって活性化への取組みなど、他の支部・地区でも参考になる活動を紹介しています。

### ★ルポ2: 国内外で広がるKOBELCO QCサークル活動

— 全員参加で学び合うKOBELCO QCサークル大会 —

P.42～

(株)神戸製鋼所のKOBELCO QCサークル大会を紹介。勝川社長をはじめとする役員が出席し、会場に集まった約280名のほか、各拠点からオンラインで参加した約360名、会社全体で学び合う盛大な大会であった。国内外でグローバルに展開するQCサークル活動や、大会運営の工夫など、読者のみなさんに広く参考にしていただけます。

### ★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例2件を紹介します。

体験事例: p.30～

1. トヨタ自動車九州(株) 「ST-4サークル」  
「4世代ST粉体ピンホールNGによる加不率の低減」
2. イビデン(株) 青柳事業場 「ドラえもんサークル」  
「めっき工程におけるめっき異物ショート不良の低減 ～メンバー全員で挑んだ深掘り活動記～」

## ★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.44～

航空自衛隊松島基地「いぐすべ！サークル」

航空自衛隊では、QCサークル活動が全国で展開されています。仲間を思う気持ちが組織の力となり、情報共有化のための工夫がされた取組みで、情報共有率が30%から90%に向上するという目覚ましい結果が得られたそうです。ほかの部署から自職場でも使いたいとの声があるほど注目された活動で、読者の皆さんも参考にさせていただきます。

## ★私たちの活動を紹介します！—海外企業の取組み—

P.46～

デンソーメキシコ QCサークル活動の紹介

（株）デンソーの海外拠点の1つであるデンソーメキシコでは、QCサークル活動を積極的に推進しています。2025年、日本の石川県金沢市で開催されたQCサークル全国大会で「スーパー改善ブラザーズ」「チャレンジャーズ」の2つのチームが参加し、発表を行いました。

大会への参加を通じて、日本のQCサークル活動の発表から様々なことを学ぶことができ、更なる改善に取り組む意欲を高めることにつながったそうです。日本のサークル活動を行う皆さんも、海外の積極的な改善への取組みをご覧になり、活動への推進力にしてください。

## ★QC検定道場

P.48～

### 第4回 管理の方法、QC七つ道具（1）、企業事例

「QC検定道場」では、品質管理検定（QC検定）3級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。2025年9月からコンピュータ受検が導入されるという大きな動きがありましたが、試験内容には変更はないとされています。

4月号は、2020年9月に実施された第30回と2021年9月に実施された第32回品質管理検定（QC検定）の3級問題を取り上げ、管理の方法とQC七つ道具について解説しています。また、企業での品質検定への取組みとして、（株）小田急ビルサービスの事例を紹介しています。

## ★連載講座：統計的手法をマスターして仕事に活かそう

p.54～

### 第3回 検定と推定②

この連載では、「統計的手法をマスターして仕事に活かそう」として、問題解決型QCストーリーの基本を掲載していきます。4月号では、3月号に続き「検定と推定」について学んでいきます。後半となる今月は、推定の考え方、母分散が既知の場合の平均の推定と、母分散が未知の場合の母平均の検定と推定について取り上げます。職場でのやり取りを例示して、わかりやすく解説していますので、ぜひ学んでいただきたいと思います。

## ★歴史上の偉人から学ぶ“TQMの実践”

p.60～

偉人の功績やエピソードをもとに、TQMになぞって「こうだろう」と解釈して学びの記事にしています。今月号は、武田信玄を取り上げて、残された名言から、人間性尊重について見ていきます。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL : 03-5378-9817 E-mail : [editotqm@juse.or.jp](mailto:editotqm@juse.or.jp)

